





# 今後も発展し続ける町であるために

—「野木町都市計画マスタープラン」改訂にあたって—



野木町長 真瀬宏子

野木町では、平成24年3月に「野木町都市計画マスタープラン」を初めて策定しました。そのプランに沿って、現在まちづくりを進めるとともに様々な施策を展開しております。しかし、策定から約5年が経過し、現下の社会経済情勢等の変化を見据えた上で、再検討しなければならない必要性を感じたために、今般、野木町都市計画マスタープランの改訂版を作成するに至りました。

これにより、今後も発展し続ける町であるための方向性が明示され、前プランの継続が可能となることで、快適なまちづくりが実現できることになれば幸いです。本プランのもとにしっかりとした施策の上乗せをしまいたいと思っております。

当町は、明治22年の市町村制施行以来、一度も合併せず、同じ地域枠のまま村から町へと移行しためづらしい町です。途中、昭和38年には野木村から野木町に変わり、同年の野木駅開設等により目覚ましい発展を遂げてまいりました。しかし、近年では社会経済の低迷、人口減少、少子高齢化の進展、予期せぬ自然災害の発生など、本町だけでは解決出来ない困難な課題が多くなってきております。

本プランでは、自然、人、歴史、文化を総合的な資源として位置づけ、いつまでも持続可能な町となるように、特に地域間のバランスに配慮しました。町の将来像である「水と緑と人の和でうるおいのあるまち」の実現に向けて、「やさしさとやすらぎに満ちた明るいまち」を創りあげる要素として一助になることと思っております。

また、本プランに基づき町が発展していくことで、町民の皆様の喜びがさらに増し、「野木町に住んで本当に良かった!」「これからも野木町に住み続けたい!」と実感していただけるようなまちづくりを進めていければと思っております。

結びに、改訂にあたり熱心にご議論をいただきました野木町都市計画マスタープラン策定委員会委員の皆様をはじめ、ご協力いただきました栃木県や近隣市町の皆様、並びにその他多くのご提言、ご意見を提供下さいました全ての皆様から心から感謝と御礼を申し上げます。この改訂版が有効に生かされ、野木町に明るい未来をもたらすよう祈念し、お礼のごあいさついたします。

平成29年9月